

ここが聞きたい！

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では26人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）



※ごく一部の掲載となりました。
30項目の質問一覧と録画映像は、上のQRコードからお入りください。

な経験・教訓だった。想像力を働かせ次に備えたい。

問／この度の豪雪で得た教訓は何か。

以上期間短縮は難しかった。

答／今回、市民から8千件を超える問合せ、苦情があった。緊急車両が頻繁に通行する重点路線や車両が集中する幹線道路は、優先せざるを得ない。歩道除雪は、より迅速にできないか検討する。自主的な除雪は、これからの在り方として研究したい。一斉雪下ろし実施日は、あれ

下ろしは遅くなかったか。

問／今冬1月7日からの豪雪で、私たちのまちにとって雪は宿痾であることを思い知らされた。「雪を徹底的に克服し打ち勝つ」ことである。除排雪、一斉雪下ろし等で分かった課題と対処を30項目訊きたい。幹線車道を最優先、生活道路はその後という判断は正しかったか、町内ごとのメインストリートは早く開けるなど一定の配慮が必要である。通学路の歩道除雪の徹底が必要であり、子どもたちが歩道を歩けず車道の端で身をすくめながら歩く姿はあつてはならない。市民が自主的に除雪する事例が見られ、互助の視点から良いことと思うがどうか。一斉雪下ろしは遅くなかったか。



今冬の豪雪災害で
得た教訓は
溝沢 一成（輝）



自治体システム標準化・
共通化の見通しは
杉田 勝典（公明党）



問／行政手続のオンライン化や自治体システムの「標準化」「共通化」の見通しは。高齢者を含め全市民がITの恩恵を受けられる取組は。

答／国は令和7年度末までの標準化を義務付け、クラウド環境による共通化も検討している。市は、これを情報システム全体の見直しや業務の合理化につなげることで、申請データを処理する情報システムの標準化・共通化を先行する。デジタル機器に不慣れな方でも容易に操作できるように利用しやすいシステム設計にしたい。

除雪を担う建設業界全体の担い手確保を

問／大豪雪を踏まえ、短・中期的な除雪対策や除雪体制の維持に向けた建設業界との連携は。

答／除雪を担う建設事業者の安定的な経営が必要であり、市は国・県とも連携した建設産業の「働き方改革」、同産業の役割・重要性の一層の発信等を通して、同産業全体の担い手育成・確保による継続的な除雪体制構築につなげたい。

使い勝手のよい「事業再構築補助金」の周知を

問／事業転換や新分野開拓支援の「事業再構築補助金」を大いにPRしてはどうか。

答／市の中小企業チャレンジ補助金と同趣旨の補助金で、取組規模に応じて使い分けができる。様々な媒体で周知し、きめ細かくサポートする。